

平成27年度 越路地域ふるさと創生基金事業提案一覧

No.	事業名	目的	内容	事業実施までのスケジュール	実施主体	事業予算	実行委員会検討
候補 1	錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化	岩田地域は、新幹線・高速道路等のため数十年にわたり山土搬出に貢献してきたが、その跡地は養鯉池が多数整備され広がっている。これを取り巻く周辺に植樹をし、さらなる美観を作り、大勢の人が散策する公園化としたい。	「勝保河内自然を守る会」が主体となり岩田区民による池周辺の植樹をする。 池は連続して広がっているが、三段に分かれており、それぞれ周遊できる4m幅の道路があり、その法面に大旨桜、モミジ各15本を植樹する。 なお、ここに隣接する勝保河内水田周辺は、ホテルの観測地点であり、田植え・稲刈りには関東周辺から多数の人が参加し、作業とともに交流する憩いの場所でもある。	10月下旬～11月上旬 桜とモミジ計30本を植え付ける。	勝保河内美化推進 実行委員会	1,500,000円	平成27年度事業として提案
候補 2	「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業	西谷地域の豊かな自然環境を地域内外の皆様に案内できるよう、平成22年度にふるさと創生基金をいただき、西谷水辺の広場を整備した。現在、水辺は地域の様々な世代の人たちの憩いの場になっているだけでなく、西谷鉱泉の来訪者などの地域外の人々にも親しまれている。また、水辺の維持管理作業を通じて地域住民の交流も盛んになっている。 このように、水辺を通じて地域内外の交流が生まれていることから、さらに魅力的な水辺作りをすすめていくことで地域活性の一助としたい。また、生き物調査やホテル祭りなどの交流イベントを行うことで、地域の宝ともいえる西谷の豊かな自然環境をより多くの住民や来訪者に実感していただきたい。	①魅力的な水辺作りのための環境維持管理作業 ホテルをはじめとした様々な生き物が生息する環境を維持するために、水辺の草刈りなどを定期的に行う。また、水辺周辺の休耕田の景観向上のため、休耕田の草刈やそばを栽培する。 ②住民主体の生き物調査の実施 現況の水辺に生息する生物(植物、水生動物など)を地域住民で調査する。調査を通じて豊かな自然環境を実感することを目的とする。また、調査の結果、生息環境悪化などの問題点が見られたら、その対策を検討する。調査は専門家の協力を得ながら実施する。調査時期は、春(両生類の産卵期)と夏(水生昆虫や水草の観察適期)の2回とし、夏の調査は子供を対象とした生き物観察会を兼ねて実施する。 ③西谷ホテル祭りや交流会の実施 地域内外の住民に西谷の豊かな自然環境を伝え、交流の場を提供するための取組みとして、西谷ホテルまつりや感謝祭、交流会を実施する。なお、交流会ではホテルの会で実施しているホテル調査や②の生き物調査の成果も披露する。 ④イベント実施のための事前整備 ②③のイベントに際し、参加者の安全を図るため、水辺の観察路の整備や水路整備などを実施する。	5月 ホテル池・カエル池観察路整備 6月 西谷ほたる祭り、環境維持作業 7月 水路整備、環境維持作業 8月 水生昆虫観察会、環境維持作業、そばの種まき 10月 環境維持作業、そば収穫 11月 環境維持作業、感謝祭 2月 地域の人々との交流会(キャンドルイベント)	西谷地域活性化実行委員会	570,000円	平成27年度事業として提案
候補 3	ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業	長岡南越路スマートIC開通以来、越路地域に多くの観光客が訪れて、市観光施設のもみじ園にて紅葉を楽しまれている。ここを地域経済活性化の好機と捕え、地場産品の宣伝を行いながら、リピーターの呼び込みと販売促進を行う。	①現在の観光事業については、おおよそ半年前くらい(事前チケット購入割引制度等)から商談が開始され、季節感のないうちから準備が行われるため、早期の首都圏や関西圏などに越路地域のPR活動を行う。(観光業者への商談会への参加) ②誘客促進のため、宣伝PR事業として豪華景品プレゼントを題材としたスタンブラリーや各メディア、官公庁プレーガイド、近隣ゴルフ場など県内外から来場の機会がある場所にポスター、チラシを配布する。 ③おもてなしを行うために、高速道サービスエリア並みの喫茶コーナーや軽食提供の場、地場産品おみやげコーナーなどを行うためのスーパーテナ(リース)を設置し、越路地域としてふるさと自慢を発信する。併せて地域経済活性化の起爆剤となるよう販売促進に努める。	平成27年 1月 実行委員会開催(以下毎月第2火曜日開催) 2月 平成27年秋冬首都圏観光商談会参加 4月 地域内各地場産品製造者会議 7月 越路観光協会と事業協議 8月 宣伝活動開始 10-11月 もみじの茶屋 12月 事業反省検討会 平成28年 2月 平成28年秋冬首都圏観光商談会参加	ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業実行委員会	900,000円	平成27年度事業として提案

No.	事業名	目的	内容	事業実施までのスケジュール	実施主体	事業予算	実行委員会検討
4	不動沢橋・岩田橋 越路の近代土木遺産周知活用事業	イギリス ハンディサイド社製(明治30年製造)の旧北越鉄道浦鉄橋のオリジナル橋梁が残る不動沢橋・岩田橋を地域振興に活用する。	不動沢橋と岩田橋は、旧北越鉄道信濃川橋梁を利用して架橋された旧越路橋架橋の際に道路公団から越路町に払い下げられ、両集落が大きな負担をして架けられたものである。 この事実と経過を詳細に調査し、その内容を記念碑に刻む。	平成27年4月 不動沢橋・岩田橋 架橋経過調査 7月 記念碑(看板)内容案作成 10月 記念碑(看板)作成設置 12月 除幕式	不動沢橋・岩田橋 記念碑設置実行委員会	2,500,000円	今後、地元住民との協議が必要(地域住民が実施する要望があるのか)
5	旧越路橋の鋼材活用	越路橋架け換え時、越路橋を愛する会が新潟県より譲り受けた鋼材(約6t)の部材をモニュメントとして越路小学校に設置し、イギリス製橋梁(北越鉄道浦鉄橋)→越路橋転用→新越路橋の歴史を伝え、地域の歴史教育に役立てる。	越路橋架け換えにあたり、新潟県はスクラップとなる鋼材が明治30年イギリス・ハンディサイド社であり歴史的価値のあるものとして、その一部を「越路橋を愛する会」に譲り渡した。その鋼材は一部活用されたものの殆どが未利用である。 この鋼材をモニュメントやオブジェとして越路小学校に設置し、越路の将来を担う子供たちの地域・歴史教育に活用する。 ■専門家(デザイナー)と越路橋を愛する会、越路小学校によるモニュメントデザイン等の活用検討(ワークショップ) ■モニュメント設置(平成28年度)	平成27年 4月 専門家の選定、意見交換 5月 ワークショップ開催 12月 デザイン案決定・作成・設置検討 平成28年度 モニュメント作成・設置	実行委員会	(平成27年度) 1,000,000円 (平成28年度) 2,500,000円	今後、越路橋を愛する会との協議が必要
6	浦 秋祭りのハッピー作成事業	浦地区の秋祭りに関し、小学生のハッピーを浦全体で統一する。 浦南部子供会 浦中部子供会(中谷子供会含む) 浦下部子供会	浦の秋祭りの際の子供会のハッピーを統一し、伝統芸能である手踊りを盛り上げる。	4月 各子供会に人数・サイズ等確認し、枚数をまとめる。 4月 下旬までに注文する。 7月 各子供会にハッピーを配布 8月 秋祭りに使用し、祭りを盛り上げる。 8月 祭り後に回収する。	浦区事務所 祭り実行委員会	1,000,000円	コミュニティ補助金(宝くじ)の活用
7	通学路外灯整備事業	来迎寺中央町内区域及び周辺地域(越中通学路)の外灯を整備し、明るい地域づくりに努める。 通学路及び住民の歩行安全対策。	区域内に現在設置されている外灯を整備し、LED灯にして明るくし、節電対策に努める。特に冬場の中学生の下校時の安全対策に配慮する。	今後、現在ある外灯の所有者及び地域の方々と話し合い、理解を求める活動に努める。	地域及び町内会	概算 500,000円(今後精査)	長岡市公衆街路防犯灯設置補助金の活用(地元町内会の負担が必要)
8	災害避難場所の整備事業	災害時、地域で使用する避難場所の整備を目的とする。 同時に日常のゴミステーションとして有効活用する。	市の所有地で、現在中央町内で災害時、避難場所として活用されている場所を公園化に整備する。 日常の草刈り作業は町内会で行うとして、簡単なベンチを整備し地域の散歩休憩場所に活用。 日常は、隣接してゴミステーションとして活用するため、水道設備を設置する。	町内会で十分議論して、責任ある管理運営に努める。 監事会において、設備内容等、具体的に検討する。	中央町内会	概算 500,000円(今後精査)	現在は、市営住宅の敷地として管理。 年2回、市で草刈りを実施。 水道設備については、他のゴミステーションのことを考えるとむずかしい。
9	巴ヶ丘一体整備他事業(自然公園・もみじ園・防災公園)	越路の宝と考えているこの周辺の整備、案内看板や周遊ガイドマップを作り、四季折々にイベントを組み入れ親しんでもらう。	①案内看板、自然公園内の樹木の名を入れたマップ作り ②自然公園内の樹木や道路整備 ③もみじ園、自然公園、防災公園をつなぐ道路の整備 ④中学生や各種団体へのイベント参加協力をお願い	4月～8月 案内看板、マップ作成 自然公園内の樹木や道路整備 3カ所をつなぐ道路整備 9月～10月 秋のもみじ園に向けて、中学生や各種団体へのイベント参加協力を願う。	未定	未定	市の事業として、産業建設課が来年度から実施予定